

～管理者として8年が過ぎて～



当ホームページをご覧の皆様、いつもありがとうございます。

今回は私(管理者・菅野)の個人的な話をこの場をお借りして書かせて頂ければと思います。

私は平成20年4月にこちら「北柏デイサービスセンター」へ異動、着任してからこの4月で丸8年の年数を働かせて頂いたこととなります。

そこで私の今までの福祉、介護業務の経歴を皆様には初めてお話してみたいと思います。

28歳までは一般の企業に勤めていました。その後福祉の世界に転職を決意し、全くの無資格未経験の私でしたが、そのような中でも就職できた都内の某特別養護老人ホームで約2年間、非常勤介護職員として勤務致しました。

自身の生計や生活、処遇面では厳しい期間ではありましたが、その2年は全くの素人だった私が介護の仕事を基礎から学ぶ為の下積み期間として、その後の人生においてもとても貴重な時間とすることができました。この間に、社会福祉士の受験資格を得るためのスクーリング等に通いながら、どうにか国家試験にも合格することができました。

その頃に柏市医療公社の新しい施設として「柏市立介護老人保健施設はみんぐ」が平成10年4月から開設されることになり、その職員募集の記事が広報かしわに掲載されました。元々生まれ育った街である柏市内で最終的には働きたいと思っていましたので、介護職員として応募し採用試験を受け幸い採用して頂くことができました。

はみんぐ開設時の介護職員として1年間勤務し、その後支援相談員として約5年、在宅介護支援センター(現、地域包括支援センターの前身)のケアマネージャーとして約5年の勤務経験をさせて頂いた後、平成20年3月末で退職となった初代管理者・青山さんの後を継ぐ形で平成20年4月から管理者として赴任し現在に至っています。

着任当初、これだけ多数のご利用者様や職員の生活や安全の責任を負うことは自分としても初めての経験で、戸惑う事や時に判断を誤ることもあり、多々皆様にはご迷惑をお掛けして来ました。

自分なんかでは力不足、ダメなのではないかと自信を無くし何度か挫折しかけたこと、辞めてしまいたいと思ったことも正直ありました。

それでも、どうにか今まで管理者として務めることが出来たのは、ご利用者様、ご家族様、ボランティア様、地域の方々やケアマネージャーなど関係者の皆様方に、多くの温かなお声掛けを頂き、優しく見守って頂けたからだこそ思います。そしてそんな未熟な管理者にも関わらず、我慢して支えてくれて、ついて来てくれたデイサービスのスタッフ達のおかげでもあります。

自分一人では何もできない管理者ではありますが、感謝の気持ちを忘れずに、これからも皆様にお力添えを頂きながら、この北柏デイサービスが皆様に喜んで頂ける施設で有り続けられるよう、スタッフと共に頑張っていきたいと思っております。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。